



あさぎり町

木と暮らしと森

目次

- 1. 熊本県の森林 ————— p1
- 2. 森林の働きと私たちの暮らし — p2・3
- 3. 森林の育成・保全 ————— p4・5
- 4. 森林と木材の循環 ————— p6・7
- 5. 暮らしに活かされる木材の特性 — p8・9
- 6. 木材利用を支える技術 ————— p10・11
- 7. 熊本県内の木造建築物 ————— p12・13



1. 熊本県の森林

熊本県は県土の62%が森林です。全国平均の67%より少し低くなっていますが、森林面積に占める人工林(人が植え育てた森林)の割合は、全国平均の40%をはるかに上回る61%です。本県は、他県と比較して林業が盛んな県だといえます。木材の生産量は、スギ(全国第5位)、ヒノキ(全国第1位)(令和5年)です。



ヒノキの人工林

1 人工林と天然林

人工林は、人が苗木^{なえ ぎ}を植え育てている森林で、木材を生産するためのものです。植えられている樹木はスギとヒノキが大部分です。一方、天然林^{てん ねん}*1は、自然に芽が出て育った森林なので、さまざまな種類の樹木が生えています。

2 針葉樹と広葉樹の違い

樹木には針葉樹と広葉樹があります。熊本県の場合、針葉樹は人工林に多く、広葉樹は天然林に多く見られます。

針葉樹

● 針状、もしくは鱗状^{うろこ}の葉を持っている樹木で、一年中緑の葉をつけている常緑樹がほとんどです。

● 例：スギ、ヒノキ、マツ、ツガ、モミなど



スギの葉



ヒノキの葉

● 幹がまっすぐな針葉樹の木材は、住宅の柱などの材料に用いられます。最近では家具や遊具^{あそびぐ}なども作られています。



スギ板の木目

広葉樹

● 幅が広く平たい葉を持っている樹木で、クヌギやケヤキなど冬に葉を落とす落葉樹と、クスノキなどの常緑樹があります。

● 例：クスノキ、ケヤキ、サクラ、シイ、カシなど



クスノキの葉



ケヤキの葉

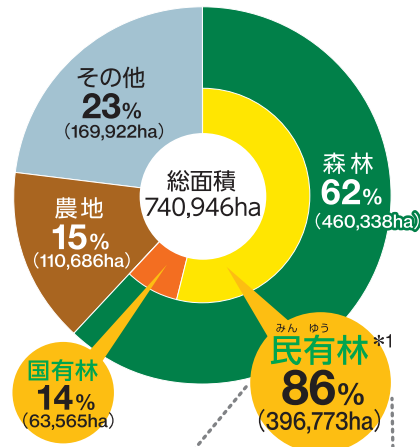
● 木目が美しい広葉樹は家具などに多く使われます。



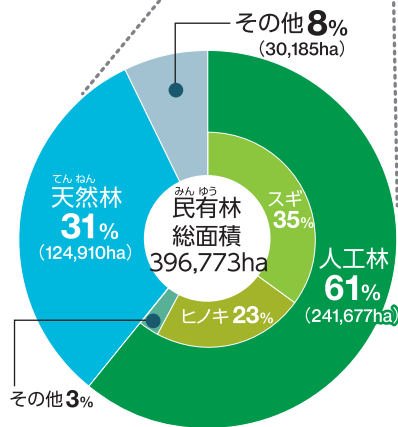
ケヤキ板の木目

熊本県の森林

熊本県の土地利用



森林は、農地や市街地、工業用地などを合わせた広さの約2倍の面積を占めています。



主に住宅の材料として使われるスギやヒノキが人工林のほとんどを占めています。

熊本県の森林(民有林)の種類

出典：熊本県林業統計要覧(令和4年度版)

*1:天然林には、一度も人の手が入っていない原生林(一次林)と、山火事や伐採の後などに自然に芽が出て育ち森林になった二次林に区別される。
*2:持ち主が国である森林を国有林というのに対して、持ち主が個人や会社など国有林以外の森林を民有林という。